

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI武蔵小杉		
○保護者評価実施期間	2025年11月23日		～ 2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025年11月10日		～ 2025年11月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成している点。	・支援計画を作成するにあたり、日々の子どもの様子について保護者からのヒヤリングを大切にしている。また、事業所での子どもの様子についても保護者と共有している。 ・保育園や幼稚園を訪問し、園での子どもの様子を実際にモニタリングをすることでより、子どもに寄り添った支援が出来るようにしている。	・今後も保護者と子どもの様子について共有を大切にしながら、日々の子どもの様子の変化に合わせて支援を進めていくようにする。 ・より子どもに寄り添った支援となるように、保育園や幼稚園との連携を大切にしていく。
2	・子どもが活動しやすい環境を意識している点。	・子ども達が安心して活動に取り組めるように事前に見通しを伝えることや、視覚支援を取り入れるようにしている。また、道具の配置も安全面に考慮しながら、視覚的に分かるようにしている。	・限られた空間ではあるが、子ども達が楽しく活動出来るように、安全面に考慮して環境設定をしていく。
3	・保護者との連携を大切にしている点。	・保護者が安心して子どもを連れてこれるように、事業所としての運営規定をはじめとした説明を丁寧に行うことを心掛けている。また、保護者が心配や困っていることがあれば、話を聴きアドバイスをするなど、保護者にも寄り添う支援を心掛けている。	・子どもも保護者にも安心していただけるように、今後もヒヤリングを大切にしていく。また、日々接する中で変化があれば、その変化についてヒヤリングをしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所からの活動内容等の情報発信が周知されていない点。	・会社としてInstagramを活用しているが、利用者は直接支援場面を見学したり、職員からの日々の支援内容と子どもの様子について共有をしているため、Instagram等を見なくても情報知ることが出来るため。	・より保護者にとっても子どもにとっても、知りたい情報が得られるツールとなるように、情報発信の仕方を検討していく必要がある。
2	・他機関との連携等の機会が少ない点。	・職員の人数や就業時間等の制約があるため。	・今年度から少しずつ他機関との連携を行うことで、より子どもに寄り添った支援となるように事業所として動くようにしている。だが、まだ他機関との連携を行っていること自体が保護者に認知されていないため、保護者にも他機関との連携について周知を行うようにしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	TAKUMI武蔵小杉
------	------------

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 49

回収数 : 30

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	3		2	・もう少し走り回れるスペースがあるといいなと思います。 ・児童数が多いとスペースが狭いと感ずることがある。 ・最大人数がつかめていないため、現状問題ないと思えます。	・活動等のスペースにつきましては、法令順守は勿論のこと、建築基準法に基づき用途変更を行い必要なスペースを確保しております。ですが、子供たちが楽しく体を動かし活動出来るように、活動時に人数を分けるなどの工夫を今後もしてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28			2	・児童数が多いと少ないと感じることがある。 ・送迎時に対応して下さる先生とその場にいらっしゃる人数なら。	・率直なご意見ありがとうございます。職員の配置数は規定に則って対応しております。お子様や保護者様が不安を感じずに安心して、ご通所いただけるように環境を整えてまいります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30				・空間といったハード面と共に職員さんの支援が統一されていたり、時間等のソフト面の構造化もとても適切だと思います。	・嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、楽しく活動出来るように、安全面を考慮しながら、職員間の連携を始め空間や時間の使い方も環境設定をしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	1			・とても綺麗で清潔な環境ですし、子供たちも安心して取り組んでいる表情です。 ・狭い中でよく工夫されていると思います。	・嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、お子様が気持ち良く活動出来るように、清掃や消毒等を行っていきます。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	1			・同じ取り組みでも、子供ひとりひとりに合わせたスモールステップできちんと的確に指導して下さっていると感じます。 ・伸びたスキルがとても多いです。また身体面以外にも、SOSの出し方や分からない時の対応方法など対人面も伸ばして頂いていると感じます。 ・時々難易度高めの内容と感じることもあるので、子どもに合った課題設定と声かけを期待しております。	・様々なご意見ありがとうございます。引き続き、お子様ひとりひとりが「出来た」を増やして自信に繋がるように、支援目標に沿ってプログラムを提供していきます。また、お子様ひとりひとり合わせて声掛けやプログラムの難易度を考え提供していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	1				
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30				・子供のことをよく理解し明確で分かりやすい内容の作成だと思います。 ・他機関のOTさんと連携して対応して頂けました。	・嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、お伺いしたお子様や保護者様のニーズを職員間で共有し、たくさん成功体験を積み重ねているようにしてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29			1	・子供のことをよく理解し明確で分かりやすい内容の作成だと思います。	・嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、日々のお子様のご様子やニーズ等をお伺いしながら、支援をしてまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29			1	・プログラムが様々な変化していて毎回面白そうと拝見しております。	・嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、お子様が楽しく活動しながら成功体験を積めるように、毎月のイベントを始め、色々なプログラムを提供していきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	6	7	4	13	・もしそのような機会が事業所内で行われているのであれば、ぜひ参加したいです。 ・通所している子供は幼稚園に行っており、そういう意味では他の子供と活動する機会があります。 ・機会がないので分からない。	・現在、交流の機会を設けてはおりませんが、必要に応じて検討させていただきます。
保護者への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29			1	・日頃からとても丁寧な説明です。	・嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、支援計画に沿った支援を行う上で、保護者様が不安を感じることはないよう努めてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	6	3	8	・参加したことがないです。 ・機会を知らなかった。 ・希望すれば、日頃の事業所での様子を見ることができ、幼稚園とも連携してくれます。	・ペアレントトレーニングとしては行っておりませんが、フィードバックの際に保護者様からのご意見やご質問に対し、アドバイスという形でお話をさせていただいております。また、ご希望に応じて、ご家族で参加できる研修会などの情報提供を行っております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	28	1		1	・事業所を利用している時以外の子供の様子なども聞いて下さったり、フォローが手厚いです。 ・すごく親身になり話を聞いて下さるし、その日の出来事を伝えて下さっています。	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後も幼稚園や保育園でのお子様のご様子をお伺いさせていただきながら、お子様が安心して活動出来るように努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30					

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	8	4	13	・支援を受けたことがないかと思えます。 ・機会がないので分からない。 ・保護者会、きょうだい向けイベントはないと思いますが、保護者やそこに通所する本人に対する支援は十分感じているので、特に不満はありません。	・父母の会等の開催は行っていません。もし、ご希望があるようでしたら、個別で情報交換の連携のご案内をさせていただきます。
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	1		1	よく周知・説明されていると思います。	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子様や保護者様からのご相談がありましたら、すぐにお伺い出来るように体制を整えてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	2		8	・HPやSNSを見ていないので分からない。	・活動内容の紹介は当事業所のインスタグラムにて公開しております。また季節行事につきましては、事前にポスターやお手紙等で周知させていただいております。自己評価につきましては会社のHPにて公開しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	3				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	1				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	2		4	・とても丁寧な対応をしていただきました。	・事故が起きないように安全面に考慮して支援を行ってまいります。ですが、もし事項等が発生してしまった場合は、契約時に説明をさせていただいておりますように、保護者様への即時のご連絡は勿論のこと、自治体へ連絡をしるべき措置を取らせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30				・適切な行動が出来るまで過度に待ってもらい、褒める声掛けで終わってもらえるので、自信もつきました。	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子様が安心して活動しながら、「出来た」という成功体験を増やしていけるように、プログラムを検討し提供や声掛けをしてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	1			・とても楽しみにしています。 ・いつも楽しみにしています。ありがとうございます。 ・いつも楽しく通わせて頂き、ありがとうございます。 ・体を動かすことが好きなので、楽しみにしています。	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子様が当事業所に通所することを楽しみにしていただけるように、色々なプログラムを提供してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30				・子どもも親も安心して通える（通わせられる）有難い場所です。 ・ありがとうございます。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子様や保護者様に満足していただける支援を行えるように、日々のお子様のご様子や当事業所でのお子様のご様子などを共有させていただき、支援につなげていければと思います。もし、気になることや不安なことがございましたら、いつでもご連絡下さい。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMI武蔵小杉		公表日		2026年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	・クールの入れ替え時には待機場所を視覚的に分かるように提示し、子どもの動線を明確にすることで安全面に配慮している。 ・プログラムの内容によっては2チームに分けるなどして、安全に配慮しながら子ども達の運動スペースの確保を行っている。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・法律上の配置数は満たしている。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・当事業所のトイレは大人用のため、子どもの意思を尊重しながらも、年齢が子どもの状態によっては職員が介助を行っている。また、更衣室も狭いため子どもによっては介助を行うなど安全面を考慮している。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日清掃と消毒を徹底している。また、道具の不備や教室の設備の不備がないかも日々確認をしている。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	・個別対応出来るようにしている。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・療育前に子ども一人一人の支援目標の確認を行うとともに直近の状況を共有している。療育後も子ども一人一人のその日の様子の共有を行い、次回の支援についても話す機会を設けている。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・年末年始に保護者に向けてアンケートを実施している。また、日々の療育後のフィードバックでいただいたご意見等を職員間で共有し、改善が必要なものについては、早急に話し合いを行い改善に努めている。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎日の朝礼終礼を通して、職員間で意見の交換を行う機会を設けている。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		・現在は行っていない。必要に応じて対応していく。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・外部研修に参加したり、社内で行われている研修に参加している。			
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・保護者や子どもからのヒヤリングを元に支援計画を作成しており、その支援計画に沿ってプログラムの提供を行うことはもちろんのこと、実際の支援の様子を見学していただく機会を設けている。 ・会社のHPにて支援プログラムの公表もしている。			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・子どもと保護者からアセスメントにて得たニーズを元に、児発管と職員間で話し合いを行い支援計画を作成している。			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・必ず児発管と職員の間で、日々の子どもの様子やニーズの確認を行った上で支援計画を作成している。			
	14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・作成した支援計画にそった支援プログラムの提供を行っている。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・日々の子どもの状況について、アセスメントシート等を利用して確認出来るようにしている。			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・発達支援に重点を置き、自立支援、運動、感覚統合、他者との関わりなどを目的とした上で、環境設定を行い、運動や創作プログラムを設定している。			

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・活動プログラムは複数の職員が担当している。支援計画に基づいた上で、日々の子どもの状態によってプログラムの立案をしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・活動プログラムが固定化しないように、日々研鑽をしている。 ・月に2回程度イベントを設けるなどして、固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		・契約時に個別活動と集団活動のどちらが適正かを検討しクラス編成を行っている。また、成長度合いや個々の目標に沿って、クラス変更を児発管と職員、保護者そして子どもにヒヤリングすることもある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・必ず朝礼を行い、役割分担や支援内容について確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・必ず終礼を行い、その日提供した支援内容と子どもの様子を振り返り、気になったことがあればその場で話し合いを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・日々の支援に関しては必ず記録を残し、次回の支援に繋げるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・半年以内にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・子どもの状況を把握している者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・関係機関と連携が取れるように体制を整えている。また、連携を取ることで支援の方向性の組み合わせ等を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・保護者からの希望や状況によって対応している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	4	・保護者からの希望や状況によって対応している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	・必要に応じて対応している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	・現段階では事業所としての交流する機会はないが、事業所の活動概要等を地域の方や地域の教育機関などに知ってもらうための説明会を定期的に行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・療育終了後は毎回、保護者に子どもの活動についてのフィードバックを行うとともに、家庭での様子や保育園や幼稚園の様子などを伺い、子どもの状況や課題などの確認し合っている。また、常時保護者や子どもからの意見や要望に応じられる体制を整えている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	・保護者からの希望や状況に応じて、情報提供を行っている。		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に運営規定や利用者負担について説明を一通り行っている。支援の内容については契約時の時だけでなく、様々な場面で詳しく説明をしている。また、質問があればすぐに返答できるようにしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・個別支援計画作成時には必ず子どもと保護者のニーズ等を確認している。そこで確認した内容を支援計画に反映させるとともに職員全員に共有している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・必ず支援計画を提示しながら内容の説明を行い、保護者から同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・半年以内に個別支援計画の見直しに伴う面談を行う際に子育ての悩み等も含め話を聴いたり、日々のフィードバック時に保護者からの悩み等を聴いている。状況によっては支援計画の面談とは別に面談の提案し、話を聴く機会を設けている。職員全員でその内容を共有した上で、保護者へ助言を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	・必要に応じて対応している。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・保護者や子どもからの相談があった際は、早急に日程の調整を行い、話を聴けるようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・インスタグラムなどのSNSを活用して、活動内容の紹介やイベントの紹介を行っている。また、手紙やポスターなどをを用いて、教室単位の行事の情報等を提供している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報の取り扱いには十分な注意を払っており、鍵付きの書庫への保管やシュレッダー処理をしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・視覚的に分かりやすいように文字に起こして説明をしたり、絵カードを使用するなど、個々の特性や障害に合わせた配慮をしている。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・当事業所の活動について説明会を行ったり、チラシを配布するなどしている。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・保護者には契約時に説明をしている。また、職員は定期的にマニュアルの確認を行っている。避難訓練は年2回定期的に行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・避難訓練を年2回定期的に行い、災害発生時の対応を確認している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・契約時に保護者から子どもの状況を聞き確認している。契約後に服薬の変更や後天的にてんかんを発症した場合は、その都度保護者から状況を確認し、事業所としての対応についても確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・契約時に食物アレルギーについて、保護者に聞き取りを行い、職員全員が確認している。またイベントなどでお菓子など配る際には保護者への周知並びに説明を徹底している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画を作成し、研修や訓練を行っている。また、毎日運動器具を始め、運動スペースの緩衝材や柵の不具合がないかを確認している。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・契約時に保護者に説明を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリハット事例があった際には職員全員で話し合い、繰り返さないために対策を話し合っている。また、記録を残し専用のファイルに保管をし、いつでも職員が確認出来るようにしている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・年に2回虐待防止の研修を行っている。		

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	・組織的にマニュアルを作成し、対応方法を決定している。保護者には契約時に書面にて説明を行い、了承を得ている。また個別支援計画書にも記載をしている。	
----	--	---	---	--

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI武蔵小杉		
○保護者評価実施期間	2025年11月23日		～ 2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年11月10日		～ 2025年11月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し支援計画を作成し、一人一人に合わせた支援を心掛けている点。	・支援計画を作成するにあたり、日々の子どもの様子を保護者からヒヤリングすることを大切にしている。また、日々の支援の中で子どもの様子や子どもと話す中で気になったことなどを職員同士共有し、子どもに寄り添った支援となるように心掛けている。 ・特性や運動能力等を鑑みてクラス編成を行うようにしている。	・自分で気持ちを発信出来る子どももいれば、自分ではなかなか気持ちを発信することが出来ない子どももいるため、子どもに合わせたヒヤリングを意識していくようにする。 ・他機関との連携を行うことでより子どもに寄り添った支援に繋がるようにしていく。
2	・プログラムが固定しないように工夫している点。	・運動以外にも創作や微細活動など、毎月イベントを行うなど、プログラムが固定化しないように意識している。 ・一つの目標に対して、色々な方法からアプローチをすることを意識している。	・今後も子ども達が楽しく活動する中で、成功体験を増やしていけるように、色々なプログラムを提供できるように、日々研鑽をしていく。
3	・保護者との連携を大切にしている点。	・保護者からの質問や相談があった際に、すぐに日程等の調整を面談等、話をお伺い出来る体制を整えるよう心掛けている。 ・支援後のフィードバック時に保護者にその日の支援内容や子どもの様子の共有をすると共に、保護者からも子どもの様子についてヒヤリングをするなど、日々保護者との連携を大切にしている。	・今後も保護者からの相談等があれば、早急に対応出来るように体制を整えていく。 ・子どものちょっと変化にも気付き、保護者と共有することを心掛けるようにしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所からの活動内容等の情報発信が周知されていない点。	・会社としてInstagramを活用しているが、利用者は直接支援場面を見学したり、職員からの日々の支援内容と子どもの様子について共有をしているため、Instagram等を見なくても情報を知ることが出来るため。	・より保護者にとっても子どもにとっても、知りたい情報が得られるツールとなるように、情報発信の仕方を検討していく必要がある。
2	・他機関との連携が少ない点。	・職員の人数や就業時間等の制約があるため。	・今年度より少しずつ他機関との連携を行うことで、より子どもに寄り添った支援となるように事業所として動くようにしている。だが、まだ他機関との連携を行っていること自体が保護者に認知されていないため、保護者にも他機関との連携について周知していくようにしていく。 ・他機関に当事業所の取り組みを知っていただくことで、連携に繋がるようにしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI武蔵小杉

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 36

回収数 : 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	10					
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10				・クラスは特性や運動量が同じような子を集めているので、より専門性のある支援が受けられていると思う。	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子様が楽しく活動しながら成功体験を積めるように、環境設定やプログラムを検討し提供していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10				・様々なイベントを開催して下さるので、子どもも楽しみにしています。	・嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、お子様が楽しく活動に取り組めるように、毎月のイベントや季節行事などを含め、色々なプログラムを提供してまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	3	3		
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	1	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	10					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	5	2	2		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	1		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	1		1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10				・怪我をした時、きめ細やかなご対応をしていただき、安心しました。	・事故が起きないように安全面に考慮して支援を行ってまいります。ですが、もし事項等が発生してしまった場合は、契約時に説明をさせていただいておりますように、保護者様への即時のご連絡は勿論のこと、自治体へ連絡をし取るべき措置を取らせていただきます。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	10					

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMI武蔵小杉		公表日		2026年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	・クールの入れ替え時には待機場所を視覚的に分かるように提示し、子どもの動線を明確にすることで安全面に配慮している。 ・プログラムの内容によっては2チームに分けるなどして、安全に配慮しながら子ども達の運動スペースの確保を行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・法律上の配置数は満たしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・道具の使い方や手洗いうがいなど、ポスターや手順表を掲示し視覚的に分かるように環境設定をしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日清掃と消毒を徹底している。また、道具の不備や教室の設備の不備がないかも日々確認をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	・個別対応出来るようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・療育前に子ども一人一人の支援目標の確認を行うとともに直近の状況を共有している。療育後も子ども一人一人のその日の様子の共有を行い、次回の支援についても話す機会を設けている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・年末年始に保護者に向けてアンケートを実施している。また、日々の療育後のフィードバックでいただいたご意見等を職員間で共有し、改善が必要なものについては、早急に話し合いを行い改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎日の朝礼終礼を通して、職員間で意見の交換を行う機会を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		・現在は行っていない。必要に応じて対応していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・外部研修に参加したり、社内で行われている研修に参加している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・保護者や子どもからのヒヤリングを元に支援計画を作成しており、その支援計画に沿ってプログラムの提供を行うことはもちろんのこと、実際の支援の様子を見学していただく機会を設けている。 ・会社のHPにて支援プログラムの公表も行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・子どもと保護者からアセスメントにて得たニーズを踏まえ、児発管と職員間で話し合いを行い支援計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・必ず児発管と職員の間で、日々の子どもの様子やニーズの確認を行い、共通理解を図り支援計画を作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・作成した支援計画にそった支援プログラムの提供を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・日々の子どもの状況について、アセスメントシート等を利用して確認出来るようにしている。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・発達支援に重点を置き、自立支援、運動、感覚統合、他者との関わりなどを目的とした上で、環境設定を行い、運動や創作プログラムを設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・活動プログラムは複数の職員が担当している。支援計画に基づいた上で、日々の子どもの状態によってプログラムの立案をしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・活動プログラムが固定化しないように、日々研鑽をしている。 ・月に2回程度イベントを設けるなどして、固定化しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・契約時に個別活動と集団活動のどちらが適正かを検討しクラス編成を行っている。また、成長度合いや個々の目標に沿って、クラス変更を児発管と職員、保護者そして子どもにヒヤリングすることもある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・必ず朝礼を行い、役割分担や支援内容について確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・必ず終礼を行い、その日の支援内容と子どもの様子を振り返り、気になったことがあればその場で話し合いを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・日々の支援に関しては必ず記録を残し、次回の支援に繋げるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・半年以内にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5		・基本活動の中の『地域交流の機会』については時間的な制約がある為、行っていない。それ以外の基本活動に関しては、様々な形で組み合わせ支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・職員がいつでも介入出来るように見守れる環境で、子ども同士でどんな活動がしたいか話し合う場を設けたり、提示した活動から子どもが自分で選択する機会を設けるようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・子どもの状況を把握している者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・関係機関と連携が取れるように体制を整えている。また、連携を取ることで支援の方向性の指り合わせ等も行えるようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	3	・当事業所は送迎を行っていない。 ・保護者を介しての情報共有が主となっているが、保護者からの希望と学校側の許可があれば、職員が直接学校との情報共有が出来るよう体制は整えている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	・必要に応じて対応している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4	・現在までに放課後等デイサービスを卒業し障害福祉サービス事業所等へ移行した児童は少ないが、資料を提供できる体制は整っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	・必要に応じて対応している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・現段階では事業所としての交流する機会はないが、事業所の活動概要等を地域の方や地域の教育機関などに知ってもらうために電話やチラシ等を用いて知っていただけるよう努めている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	・現段階ではまだ参加したことがないが、機会があれば参加出来るように体制は整えている。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・支援終了後は毎回、保護者に子どもの活動についてのフィードバックを行うとともに、家庭での様子や保育園や幼稚園の様子などを伺い、子どもの状況や課題などの確認し合っている。また、常時保護者や子どもからの意見や要望に応じられる体制を整えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	・保護者からの希望や状況に応じて、情報提供を行っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に運営規定や利用者負担について説明を行っている。支援の内容については契約時の時だけでなく、様々な場面で詳しく説明をしている。また、質問があればすぐに返答できるようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・個別支援計画作成時には必ず子どもと保護者のニーズ等を確認している。そこで確認した内容を支援計画に反映させるとともに職員全員に共有している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・必ず支援計画を提示しながら内容の説明を行い、保護者から同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・半年以内に個別支援計画の見直しに伴う面談を行う際に子育ての悩み等も含め話を聴いたり、日々のフィードバック時に保護者からの悩み等を聴いている。状況によっては支援計画の面談とは別に面談の提案し、話を聴く機会を設けている。職員全員でその内容を共有した上で、保護者へ助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	4	・必要に応じて対応している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・契約時に苦情に関して、申し入れの方法を伝えている。当事業所としては、苦情になる前に保護者やこどもの様子を察知して事前に対応しているつもりであるが、保護者や子どもから苦情があった場合は、職員全員で話し合い、すぐに対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・InstagramなどのSNSを活用して、活動内容の紹介やイベントの紹介を行っている。また、手紙やポスターなどを用いて、教室単位の行事の情報等を提供している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報の取り扱いには十分な注意を払っており、鍵付きの書庫への保管やシュレッダー処理をしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・視覚的に分かるように文字に起こして説明をしたり、絵カードを使用するなど、個々の特性や障害に合わせた配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・当事業所の活動について説明会を行ったり、チラシを配布するなどしている。	
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・保護者には契約時に説明をしている。また、職員は定期的にマニュアルの確認を行っている。避難訓練は年2回定期的に行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・避難訓練を年2回定期的に行い、災害発生時の対応を確認している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・契約時に保護者から子どもの状況を聞き確認している。契約後に服薬の変更や後天的にてんかんを発症した場合は、その都度保護者から状況を確認し、事業所としての対応についても確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・契約時に食物アレルギーについて、保護者に聞き取りを行い、職員全員が確認している。またイベントなどでお菓子など配る際には保護者への周知並びに説明を徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全計画を作成し、研修や訓練を行っている。また、毎日運動器具を始め、運動スペースの緩衝材や柵の不具合がないかを確認している。	

対 応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・契約時に保護者に説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリハット事例があった際には職員全員で話し合い、繰り返さないために対策を話し合っている。また、記録を残し専用のファイルに保管をし、いつでも職員が確認出来るようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・年に2回虐待防止の研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・組織的にマニュアルを作成し、対応方法を決定している。保護者には契約時に書面にて説明を行い、了承を得ている。また個別支援計画書にも記載をしている。	